

巻頭言

RIST- 登録機関初心者から中級者へ

高度情報科学技術研究機構 理事長
関 昌弘



平成24年4月、RISTは一般財団法人に移行し、以来新しい制度の下で事業を進めています。同年6月の定時評議員会で新役員が決定され、私が理事長として平山専務理事、中村常務理事とともに新生RISTの運営を担ってきました。時を同じくして平成24年4月からRISTは、スーパーコンピュータ「京」の登録機関として神戸において新たな業務を開始。同時に革新的ハイパフォーマンズ・コンピューティング・インフラHPCIの利用促進業務もスタートしました。

業務への対応については、当初の暗中模索状態から2年を経て仕事の流れがおおよそ見えてきた状態になりつつあります。しかし、ユーザに対するよりよい、より適切なサービスの提供という観点からは毎回毎回が初めての経験で、失敗も手ばかりもあり、それを新たな経験の蓄積として将来に生かしているという状況です。ユーザからの要望に対しては、的確対応よりは迅速対応を旨とし、ユーザとの対話を通じて結果としての的確な対応になるよう努めました。

この2年間RISTの経営にとって最も重要な課題は、登録機関RISTの体制構築・整備でした。紆余曲折はあったもののまた、決し

て十分とは言えないものの、何とか所期の目標を達成したと考えています。

さて、本年6月、評議員会において新たな役員が任命され、改めて私が理事長、平山が専務理事として引き続き2年間、RISTの運営を担当することとなりました。今期のミッションは、RISTの将来を見据えた安定成長の足がかりを確保することです。それには、RISTが登録機関としてコミュニティの期待に著実に応えていく、成長性と柔軟性の高い組織となることが肝要です。

スパコンはアカデミックな高度利用に加え、産業利用を促進し産業競争力の向上を図ることが重要との認識が高まっています。この観点から昨年、文科省のご指導、産業界、学界のご支援をいただき「国内外の産業界におけるスパコンの活用に関する調査」を実施しました。調査の結果を参考にし、登録機関として、ユーザの利便性をさらに高めるべく成長を続けたいと考えています。

今後とも文科省、理研、コンソーシアム、利用者、スパコン提供機関等、多くの関係者のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。